

平成30年度 北海道胆振東部地震災害 緊急調査支援補助事業 調査結果報告

調査課題名：北海道胆振東部地震災害調査研究：火山性噴出物の
脆弱性と大規模崩壊に関する地質学的・地震学的調査

研究代表者 所 属： もの創造系領域
職 位： 准教授
氏 名： 後藤 芳彦

1. 調査の概要 (1)

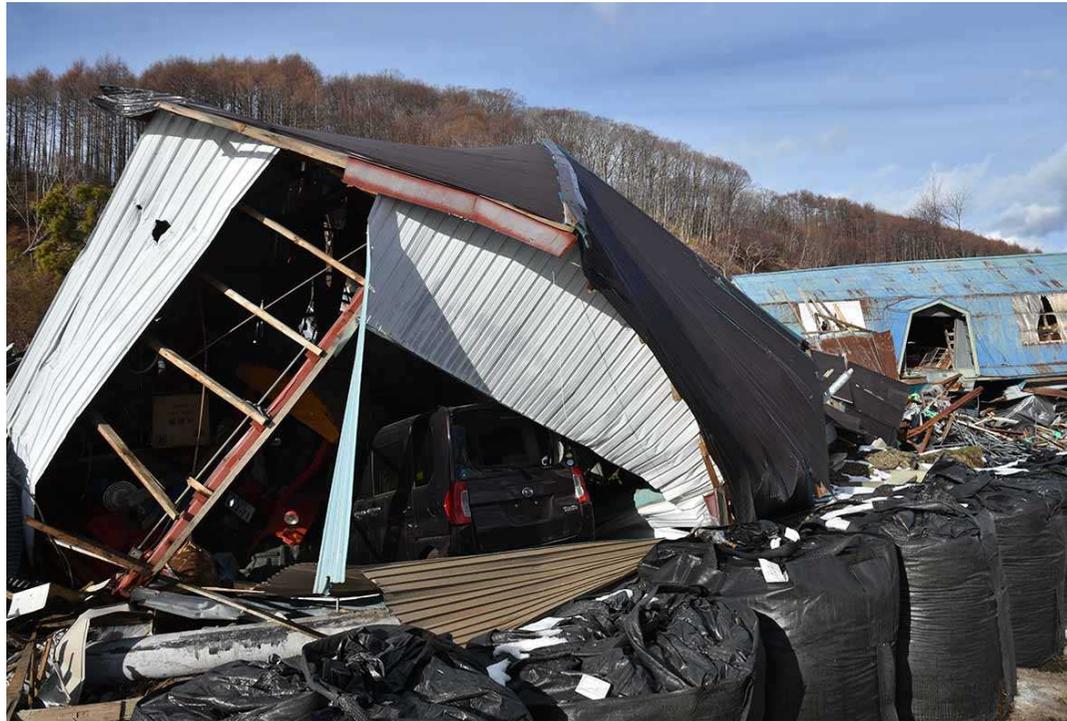
北海道胆振東部地震では地震の震源域周辺において斜面崩壊が多数発生し、大規模災害を引き起こした。北海道胆振東部地域には支笏カルデラから噴出した脆弱な火山噴出物(降下火砕堆積物・火砕流堆積物等)が広く分布しており、これらの脆弱な火山噴出物が地震により崩壊した可能性が高い。



しかし北海道における火山噴出物の脆弱性と斜面崩壊に関する防災学的な研究は、一部の分野を除いてこれまでほとんど行われていない。

1. 調査の概要 (2)

我々は北海道胆振東部地震で発生した斜面崩壊の原因を探るため、北海道胆振地域を中心とした地質学的・地震学的な野外調査を行い、防災学的な研究を行った。脆弱な火山噴出物の地質学特性や、その分布域を調査することは、北海道胆振東部地震で起きた大規模災害の原因を探る目的で重要である。



本研究では北海道胆振東部地震で起きた大規模災害の原因を探り、さらに同様な地震災害が北海道内の他地域(例えば北海道胆振西部地域)で発生する可能性についても調査・検討を進めた。このため、北海道胆振東部地域と類似した脆弱火山噴出物の野外地質調査を胆振地域全域に広げて行った。また、国内外で起きた地震斜面崩壊の過去の災害事例を調査した。